

2008年8月22日
日本銀行決済機構局

次世代RTGS第1期対応にかかる総合運転試験フェーズⅡ（第2回）の結果について

2008年8月3日（日）に実施した、次世代RTGS第1期対応の総合運転試験（RT）フェーズⅡ第2回の試験結果の概要は次のとおりです。

- * RTフェーズⅡは、市場関係者に企画していただくテスト内容に沿って、本番環境に極力近い環境で、次世代RTGS導入後の新しい市場慣行に基づく取引・決済の運営を実践的に確認するフェーズです。
- * RTフェーズⅡ第2回では、217の金融機関等が参加し、想定日（外国為替円決済制度に関する取引の繁忙日である5月7日）の実取引データをもとに、次世代RTGS導入後を想定した支払指図の投入パターンや同時決済口において確保すべき流動性水準、各種市場慣行の実効性等を確認しました。

1. 試験結果の概要

- システム環境面では、第1回と同様、日本銀行側、参加先側ともに大きな問題なく終了しました。
- 試験内容面についても、当座勘定（同時決済口）における決済は全体として円滑に進捗しました。第1回に比べ、同口座に投入された流動性は少なかったにもかかわらず、同程度の決済進捗を達成しています。
 - * 参加先から頂いた結果報告書の集計結果は別紙1、RTにおける決済データの集計結果は別紙2のとおりです。
- このうち当預取引（主に市場取引）についてみると、第1回と同様に、コール取引の返金が集まる9時台においても、円滑な決済が行われました。また、決済口座を誤って支払指図を送信したり、決済時限が守れなかったりしたケースが引き続き見られましたが、こうした事象の報告件数は第1回よりも減少しており、金融機関において事務の習熟が一層進んでいることが窺われます。
 - 外為円決済取引については、一部の先を除き、外国為替円決済制度の支払指図電文の送信に関する申合せ（紳士協定）¹を遵守する形で決済が進捗し、繁忙日においても円滑な決済が達成可能であることが確認できました。
 - * 短期金融市場取引活性化研究会による市場取引に関する評価は別紙3、東京銀行協会による外国為替円決済制度に関する評価は別紙4のとおりです。

¹ 外為円決済取引については、午前11時までに1日の同時決済口支払指図の取扱量のうち、件数の65%、金額の55%（待機された同時決済口支払指図を含む）を送信するものとする。なお、同時刻までに決済される当該支払指図についても同様の進捗率となるよう必要資金の当座勘定（同時決済口）への投入等により確保するよう努めるものとする。

2. 今後の予定

○ 日程

既にご連絡しているとおり、9月7日（日）にRT フェーズⅡ第3回を実施いたします。

第3回は、短期金融市場取引の繁忙日（6月30日）を想定した形で行われ、当座勘定（同時決済口）の開設を予定しているほぼ全ての先（288先）が参加する予定です。その際には、次世代RTGS第1期対応の稼働開始と同時期に更改を予定している短資取引約定確認システムを用いて取引を行うなど、一段と本番に近い環境の下で、最終的な確認が行われる予定です。

* 止むを得ない事情により日本銀行が必要と認める場合、予備日（9月21日（日））を用いてRTフェーズⅡを追加的に実施します。万が一予備日を実施することとなった場合には、第3回終了後速やかに、日本銀行より関係者に対して連絡する予定です。

○ 実施手順書等の見直し

8月22日に、「次世代RTGS総合運転試験フェーズⅡ 実施手順書」および「次世代RTGS総合運転試験フェーズⅡ 試験参加にあたっての留意事項」の修正版を、日本銀行ホームページ（www.boj.or.jp）（左下部「業務上の事務連絡」→「日銀ネット関連」→「次世代RTGS関連」）に掲載いたしました。

* 日本銀行では、国債取引の確認を円滑に実施するため、第3回の試験環境における国債残高の増額を一部参加先に対して実施いたします。詳細は上記資料に記載していますので、第3回の参加先は内容をご確認ください。

○ 参加先におかれましては、今回一部にみられた問題点等を踏まえ、第3回の試験に向けた準備を進めて頂きますようお願いいたします。

日本銀行としても、試験環境の提供にあたり万全を期するとともに、10月14日（火）に予定している次世代RTGS（第1期対応）の稼働開始に向けて、引き続き着実に準備を進めていく所存です。

以上

<本件に関する照会先>

日本銀行 決済機構局 決済企画担当 代表電話番号 03-3279-1111
田尾 一輝（内線 2963） 猪又 祐輔（内線 2957）
電子メール post.rtgsexg@boj.or.jp

R T フェーズ II (第 2 回) 結果報告書の集計結果

< 貴社において事前に予定していた試験内容を問題なく実施できましたか >

問題なく実施できた	一部実施できなかった
216 (99.7%)	1 (0.3%)

* 括弧内は、R T フェーズ II (第 2 回) の全参加先に占める構成比。

< 問題のあった点、実施できなかった点 (例) >

決済口座相違	同時決済口で決済されるべき取引が通常口で決済されてしまった。
決済時限遅延	コール取引等の決済時限が一部の取引について守れなかった。
試験用データ不備	想定日 (5 月 7 日) の取引を送信すべきところ、システム運用日付 (5 月 13 日) の取引を送信してしまった。

RTフェーズⅡ（第2回）における決済データの集計結果

1. 当座勘定（同時決済口）における取引件数および金額

	第1回		第2回	
	件数	金額(億円)	件数	金額(億円)
当預	6,222	378,579	6,115	375,218
外為	33,605	237,216	41,491	279,804
合計	39,827	615,795	47,606	655,022

* 当預は「振替依頼（同時決済口）」、「振替依頼・付記電文付（同時決済口）」、外為は「BANK TRANSFER (QUEUE OFFSET)」、「CUSTOMER TRANSFER (QUEUE OFFSET)」。

* 結果として取り消された取引も含む。第2回における「BANK TRANSFER (QUEUE OFFSET) 中、1件当り金額が5兆円以上の取引2件（いずれも入力直後に取消された）については集計の対象外とした。

2. 平均決済時刻と待機時間

単位は“時：分：秒”（金額加重平均）

		第1回	第2回
当預	平均送信時刻	11:05:04	11:01:54
	平均決済時刻	11:17:47	11:06:32
外為	平均送信時刻	10:41:16	10:52:03
	平均決済時刻	10:51:52	11:03:45
合計	平均送信時刻	10:55:54	10:57:42
	平均決済時刻	11:07:48	11:05:21

待機時間別決済件数（構成比）と平均待機時間（単純平均）

待ち行列の待機時間	第1回	第2回
0分	85.1%	87.9%
00-15分	8.6%	7.2%
15-30分	3.2%	2.4%
30-60分	1.7%	2.2%
60分以上	1.5%	0.3%
平均待機時間（単純平均 “時：分：秒”）	0:02:58	0:02:07

* 金額加重平均は、（金額と時間の積の総合計）/（金額の総合計）により算出。取り消された取引は、取り消された時刻を決済時刻とみなした。

* 待機時間は、指図が投入されてから決済されるまでの時間（取消の対象となった取引は指図投入時点から取消時点までの時間）。

3. 同時決済口に投入された流動性等

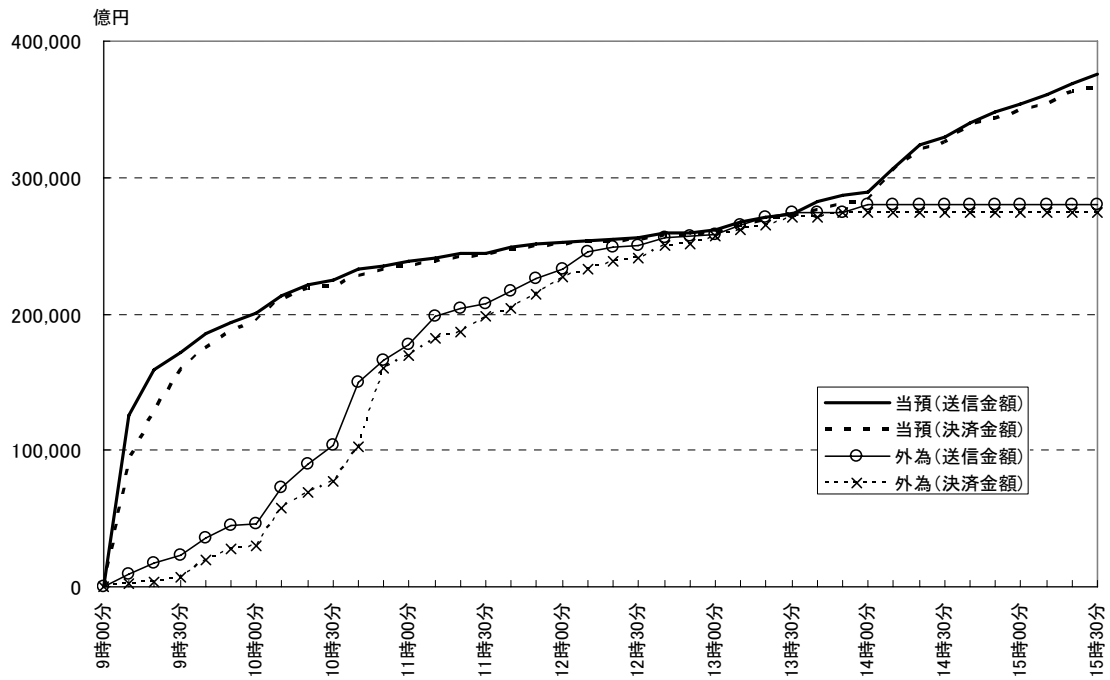
単位は億円

	第1回	第2回
同時決済口の残高（9:20時点）	99,202	74,815
同時決済口の残高（10:00時点）	120,600	104,468
同時決済口の残高（ピーク推計）	123,210	108,940
仕向超ピーク額計	184,416	184,146
ネット負け尻額計	43,639	41,307

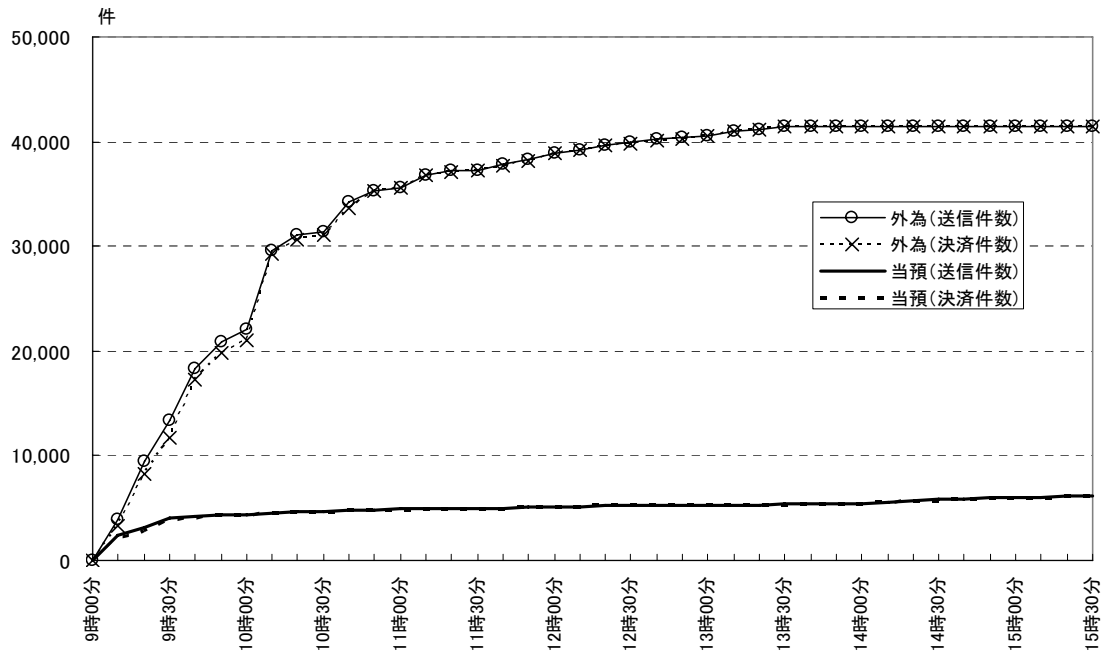
* 同時決済口の残高は、RTで実際に行われた自己勘定間振替から振替金額が極端に大きい（8～10兆円）先の取引（第1回においては3先、7件。第2回においては1先、2件）を控除したうえで算出。

(参考図表) RTフェーズⅡ(第2回)における決済進捗

【金額ベース】



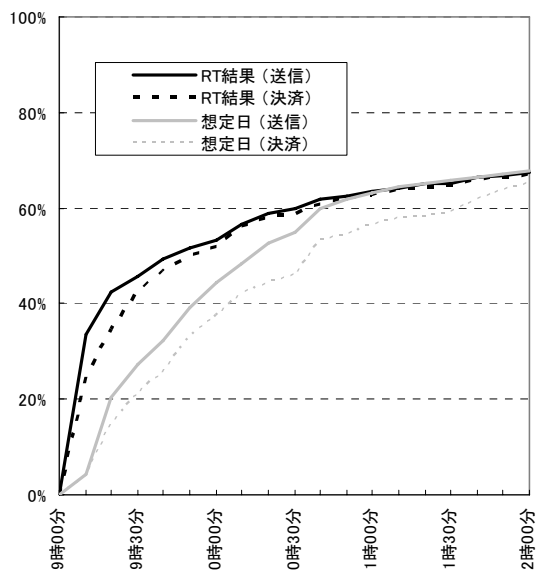
【件数ベース】



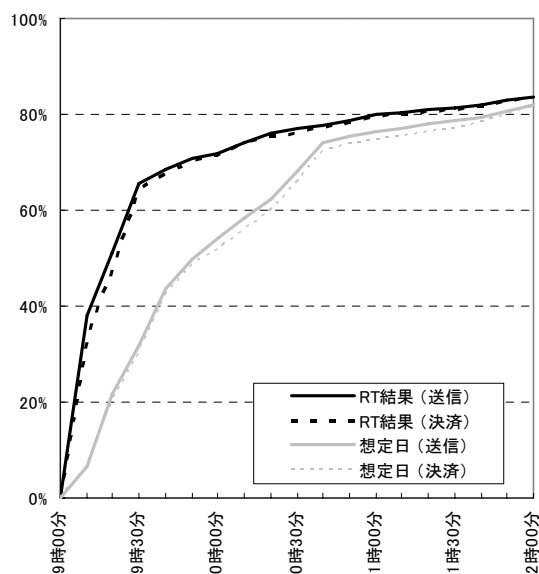
* RTでは当座勘定(同時決済口)の終了時刻を1時間前倒し(16:30⇒15:30)している。

(参考図表) RTフェーズⅡ(第2回)と想定日(5月7日)における決済進捗の比較

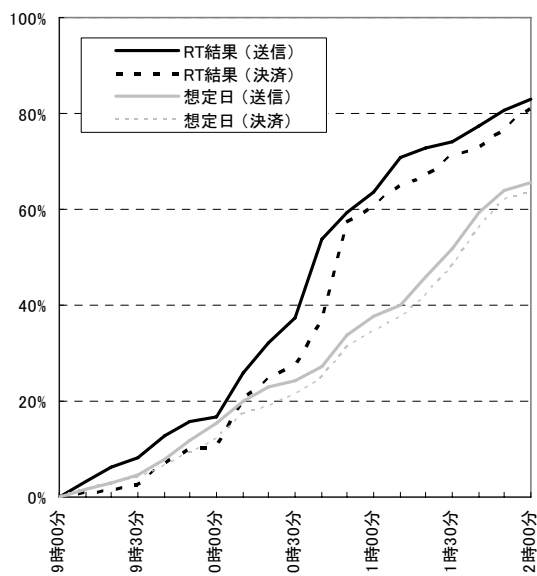
【当預取引 金額ベース】



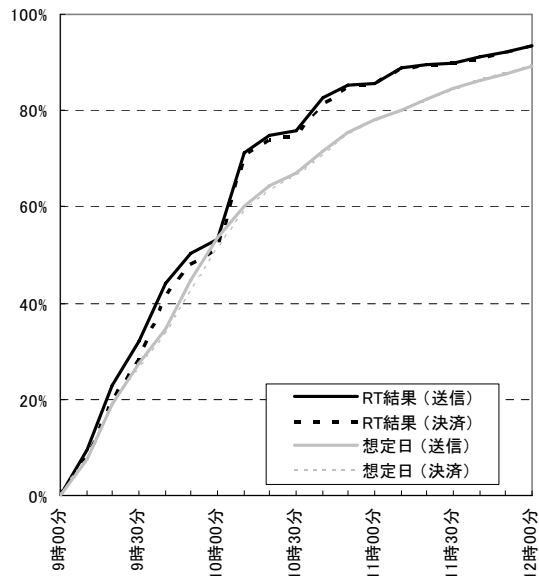
【当預取引 件数ベース】



【外為取引 金額ベース】



【外為取引 件数ベース】



* 1日の送信件数(RTにおいて結果として取り消された取引も含む)を100%とした場合の累積進捗率。

* RT結果と想定日(5月7日)では、ベースとなる取引が異なる。

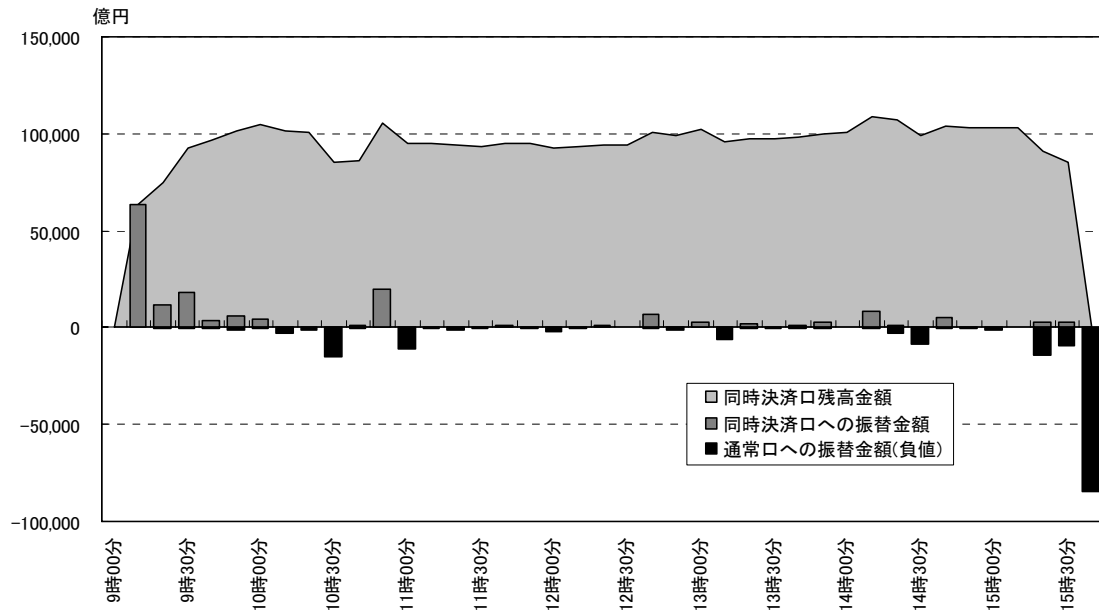
・ 想定日における取引の全てがRTにおいて同時決済口で決済されるとは限らない(市場取引であっても相対での合意により通常口で決済されるものがあるなど)。

・ RTでは想定日に行われた取引以外にも試験用の仮想取引が行われている。

* 「想定日(決済)」は、想定日の実取引データを元に行った事前シミュレーションの計数(各先の流動性投入水準を仕向超ピーク額の50%としたケース。シミュレーション手法については「次世代RTGSプロジェクト通信 第2号」を参照)。

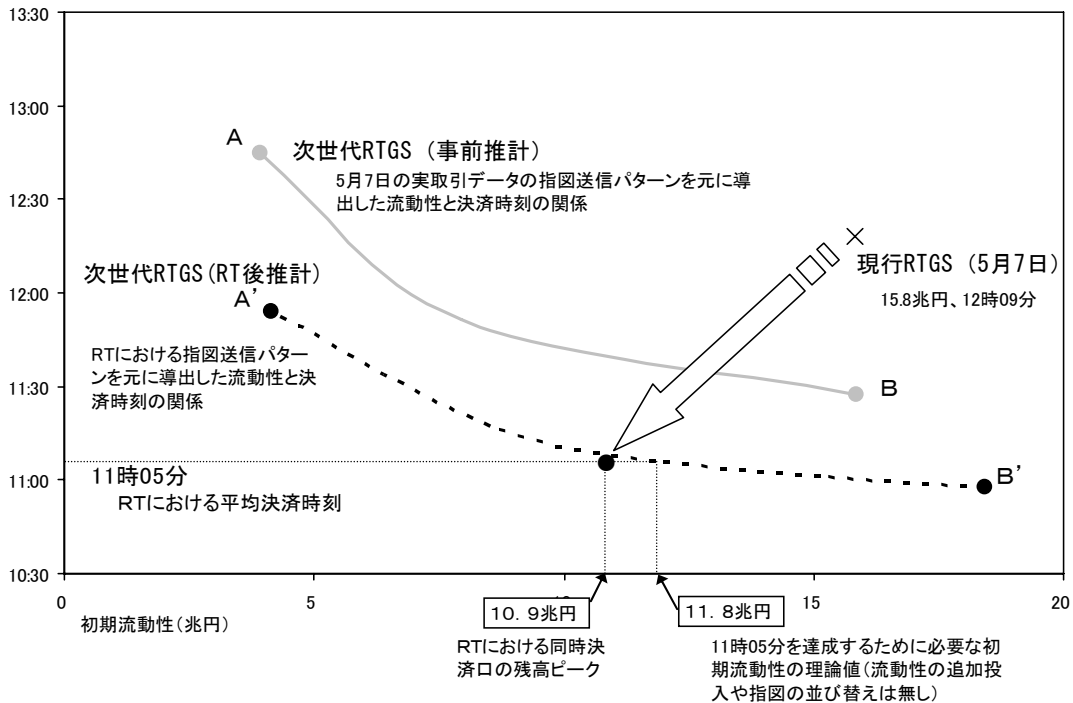
(参考図表) RTフェーズⅡ(第2回)における流動性と決済時刻

【自己勘定間振替と同時決済口残高の日中推移】



- * 自己勘定間振替とは、参加者による自己の当座勘定(同時決済口)と既存の当座勘定(通常口)との間の資金の振替をいう。
- * RTで実際に行われた自己勘定間振替から、同時決済口への投入金額が極端に大きい(10兆円以上)先の取引1件を控除した。

【所要流動性と平均決済時刻】



- * 「現行RTGS」は、当預はRTGS、外為は14:30に時点ネット決済される下で実現した平均決済時刻とそのために必要な初期流動性の水準。
- * 点AおよびA'は、初期流動性をネット負け戻とした場合、点BおよびB'は仕向超ピーク額とした場合の平均決済時刻(シミュレーション手法については「次世代RTGSプロジェクト通信 第2号」を参照)。

2008年8月22日
短期金融市場取引活性化研究会

次世代RTGS総合運転試験(RT)フェーズⅡ第2回(8月3日実施) 市場取引に関する評価について

1. 評価

市場取引に関しては、RTフェーズⅡの目的である、「市場関係者の企画した内容に沿って、本番環境に極力近い環境で、新しい市場慣行に基づく取引・決済の運営方法を実践的に確認する」ことができた、と評価いたします。

「次世代RTGS後の市場慣行」の遵守状況^{※1}については、結果報告書、決済データの集計結果および短期金融市場取引活性化研究会が実施した参加者宛の任意のアンケート結果^{※2}から、概ね参加者が遵守できたことが確認できました。

※1 ◎当座勘定(同時決済口)で決済すべき取引が決済できたか

◎コール取引についての市場慣行

- ・遅くとも午前10時までに返金する返金先行ルール
- ・約定後1時間以内のスタート資金決済
- ・返金を前提とした資金放出の取扱い
- ・「優先」指定

などの遵守状況

※2 短取研が実施したアンケートでは、少数の参加者から、不明資金の入金、コール取引の決済時限遅延、大幅に早いタイミングでの入金、「通常口」「同時決済口」の決済口座相違などがあつた、との回答を頂きましたが、大半の参加者からは、何らかの問題があつた等の回答はありませんでした。

2. RTフェーズⅡ第3回の検討課題等

短資取引約定確認システムを用いた業務などにより、さらに本番環境に近い環境で、新しい市場慣行に基づく取引・決済の運営方法を実践的に確認することが検討課題であると認識しております。

また、国債取引の確認を円滑に行う目的からテスト環境における国債残高の増額を日本銀行に要望いたしました(試験に関する実施手順書等も国債残高に関する記述を追記したうえで修正しております)。

第3回に向けて、実施手順書(市場取引編)および次世代RTGS後の市場慣行について、さらに周知を徹底してまいります。

以上

<照会先>

短期金融市場取引活性化研究会幹事(みずほ銀行総合資金部) 木村淳一 Te103-3596-4254

2008年8月22日
 社団法人 東京銀行協会
 外国為替円決済制度運営部会

次世代RTGS総合運転試験フェーズⅡ第2回（8月3日実施）
 （外国為替円決済制度）に関する評価等について

1. 評価（支払指図電文の送信に関する申合せ（紳士協定）の遵守状況）

今回は、外為円決済取引の繁忙日を想定日として、支払指図電文の送信に関する申合せ（紳士協定）*の遵守状況について確認を行ったが、前回の通常日を想定日とした場合の進捗率より比率は若干低下したものの（件数 91%⇒86%、金額 69%⇒61%）、一部の銀行を除いて、当該遵守が確認できたことから、今回のテストの目的は達成されたものと評価する。

* 午前 11 時までに件数の 65%、金額の 55%を送信・決済する。

達成率 全体	件数 86%	金額 61%
（事前シミュレーション結果	件数 78%	金額 34%）

未達銀行 3行

A行：想定日の指図の投入ペースに合わせたため、金額の進捗率が達成できなかった（全体の 20%超を占める大口の I/O スワップの指示が 10:30 過ぎに来ていたため処理が遅れた面がある）。

B行：紳士協定遵守を念頭にオペレーションを実施したが、達成率計算上の誤り等により、決済金額ベースで若干（1%程度）下回る結果となった。

C行：システムのオペミスにより、送信が遅延した。また、予め 11 時までに受領する予定の資金が 11 時までに着金しなかったことから、当該資金を裏づけとした送金が遅延した。

2. 次回のRTに向けての検討課題等

- 一部の銀行において、オペミス等により、紳士協定の達成がなされなかったが、次回の総合運転試験においては、紳士協定が遵守されるよう再度徹底する。

以 上

〔本件照会先〕 東京銀行協会 事務システム部 外国為替円決済制度管理室
 佐方、井出野（TEL:03-5252-3750、3751）